市町村名	中城村

令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進
担当部課名	都市建設課	事業実施（予定）年度	令和4年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-11-1

事業内容	地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。
効果発現年度	□当年度　■後年度（R11～年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R4年度（繰）	R5年度	R5年度（繰）	R6年度
予算の状況	(a) 当初予算額	840,965		11,035		
	(b) 予算現額	579,246		9,086		
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 261,719	0	▲ 1,949	0	
	(d) 繰越額		548,954		9,086	
	A. 計 (b+d)	579,246	548,954	9,086	9,086	
B. 執行済額		28,448	548,954	0	8,712	
うち交付金充当額		22,758	439,163	0	6,969	
次年度繰越額		548,954	0	9,086		
執行率 （%） (B/A)		4.9%	100.0%	0.0%	95.9%	
予算の状況の説明		公募型プロポーザルの実施によって、1,949千円を減額する事ができた。 また、地区計画策定にあたり、区域の考え方や建築物の用途等、計画の細部に関する県との調整に不測の日数を要したため、事業を令和6年度に繰越し、次年度に完了した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R5年度（繰）	
用地購入（21筆）の実施	目　標	実施			
	実　績	一部実施（用地交渉）	実施（用地購入）		
インフラ整備調査委託業務の実施	目　標	実施			
	実　績	実施			
地区計画策定	目　標	（　）	（実施）	（　）	（　）
	実　績		実施	実施	

達成状況説明	区域の考え方や建築物の用途等、計画の細部に関する内容について、地域や地権者、また、県と協議を行いながら地区計画策定を実施することできた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
用地購入（21筆）の完了	目　標		（完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		一部完了	完了		
インフラ整備調査委託業務の完了	目　標		（完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完了			
地区計画策定の完了	目　標	（　）	（　）	（　）	（完了）	（　）
	実　績				完了	

進捗状況説明	県との下協議を終え地区計画策定業務が完了した。今後法的手続きを行い運用開始する。

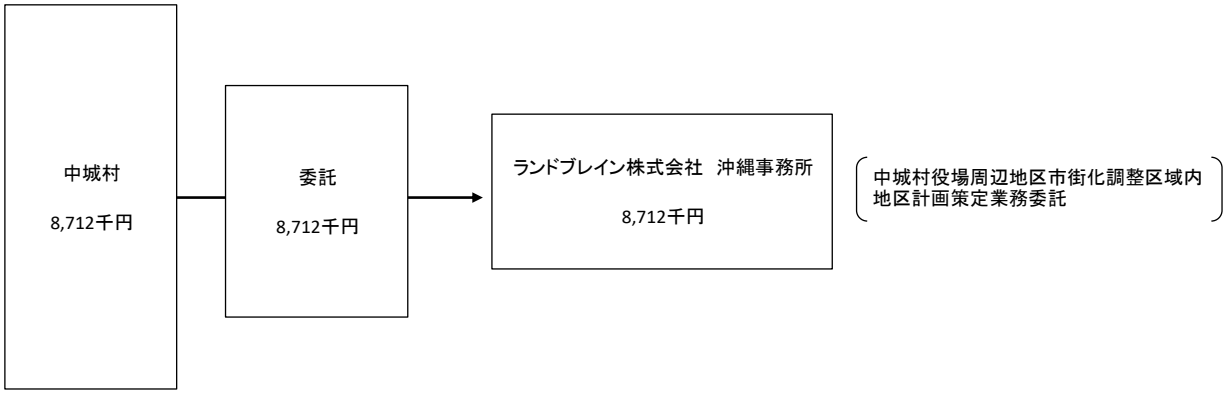
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・これから運用開始に必要な法定手続きを行うため、商業施設誘致のスケジュールに支障が生じないよう早期に関係機関と運用開始に向けて調整する必要がある。	・法定手続きがスムーズに行えるよう県と事前に調整を行い、商業施設誘致のスケジュールに支障が無いよう取り組んでいく。

今後の取り組み方針

・運用開始にあたっては地域住民の理解と協力が必要であることから、改めて地区計画の内容について村の広報媒体を活用し周知していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,712	8,712	6,969	1,743	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者の選定については、公募型プロポーザルにより実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は374千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村

令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	吉の浦公園等施設機能強化整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－(9)－ア スポーツ関連産業の振興と地域の活性化
担当部課名	生涯学習課	事業実施（予定）年度	平成28年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	地域振興及び観光誘客を図るため、スポーツや文化振興の拠点として吉の浦公園等施設の整備を実施する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（R　年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	R2年度（繰越）	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度（繰）
予算の状況 (a) 当初予算額	0	44, 434	46, 398	40, 130	
予算の状況 (b) 予算現額	0	36, 000	48, 188	137, 502	
予算の状況 (c) 増減額(b−a)	0	▲ 8,434	1,790	97,372	0
予算の状況 (d) 繰越額	45,001	0	0	0	94,798
予算の状況 A. 計(b+d)	45,001	36,000	48,188	137,502	94,798
B. 執行済額	25,729	33, 226	47,351	40,254	84,290
うち交付金充当額	20,583	26, 581	37,880	32,203	75,431
次年度繰越額	0	0	0	94,798	
執行率（%）(B/A)	57.2%	92.3%	98.3%	29.3%	88.9%

予算の状況の説明：当初、芝管理及び東屋の設置工事を予定していたが、遊具設置工事を追加したため予算97,976千円を増額した。遊具設置工事については、デザインの選定や設計業務に不測の日数を要したことから繰越となったが、令和6年度で遊具工事が完了し、予算を執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R5年度（繰）
ございまる陸上競技場芝生の適正管理	目　標	（　実施　）	（　実施　）	（　実施　）	（　　）
	実　績	実施	実施	実施	
・吉の浦公園東屋設置計画の実施 ・遊具の設置	目　標	（　　）	（　　）	（　実施　）	（　　）
	実　績			実施	実施

達成状況説明：
・陸上競技場芝生適正管理業務について、継続した管理を実施しプロサッカーチームがキャンプ地として利用した。
・東屋を新設し、公園利用者の利便性向上を図った。
・子供遊具の新設について、設計及び資材価格調査を実施したが、設計等の実施にあたり不測の日数を要したことから工事の着工は令和6年度へ繰越となったが、令和6年度で完了することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R5年度（繰）	目標値（年度）
プロサッカーチームの合宿件数	目　標	（2チーム）	（2チーム）	（2チーム）	（　　）	（3チーム）
	実　績		1チーム	3チーム		
東屋整備の完了	目　標			（　実施　）	（　　）	
	実　績			実施		
公園遊具整備の完了	目　標			（　実施　）	（　実施　）	
	実　績			実施	実施	
【参考指標】R5年間利用者数　6,000名	目　標	（　　）	（　　）	（6,000名）	（　　）	（　　）
	実　績			5,235名		
【参考指標】放送設備の整備により利用者の利便性が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。	目　標	（　　）	（　　）	（80%以上）	（　　）	（　　）
	実　績			84%		

進捗状況説明：
・適正な芝管理を継続してきたことでプロサッカーチームのキャンプ受入を実施し観光誘客の促進を図ったが公園利用数は目標値に届かなかった。
・東屋はスケジュール通りに完了した。
・繰越となった遊具工事については令和6年度で完了することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（プロサッカーキャンプ受入） 目標であった誘致件数を上回るチーム数を誘致することができたのは、良質な状態の芝を維持しキャンプ地として最適な環境を創出したことが要因と考えられる。 （東屋新設工事・遊具施設工事） 遊具設置工事については、デザインの選定や設計に不測の日数を要したことや追加業務等があり年度内に終える事ができなかったが、令和6年度に完了することができた。村HPや広報誌で周知を図り、利用者の更なる増加を図る。 （施設利用数） キャンプ受入れ団体数が多くなったことで、一般利用者が施設を利用できる期間が制限されたことが公園利用者数が減少した要因と考えられる。 しかし、キャンプ見学者数は2,219名であり、これを加味すると目標値は達成している。 （利用者アンケート） 放送設備の活用により、各種大会時のアナウンスや、公園利用者へ園内放送で閉館の案内や注意喚起など、園内広域への呼びかけを即時に行うことで利便性の向上につながったことが目標値を達成した要因と考えられる。	（プロサッカーキャンプ受入） 良質な芝を維持するには専門的知識及び技術が必要であるため、今後も継続した管理を行う。 （東屋新設工事・遊具施設工事） 施設の機能強化及び利便性の向上が図られたことから、利用者拡大に向け、当該施設を活用してPRを行う必要がある。 （施設利用者数） 公園内の施設や機能を広く周知し様々なイベントで活用してもらう等、利用者数の増加に繋げる取り組みが必要である。

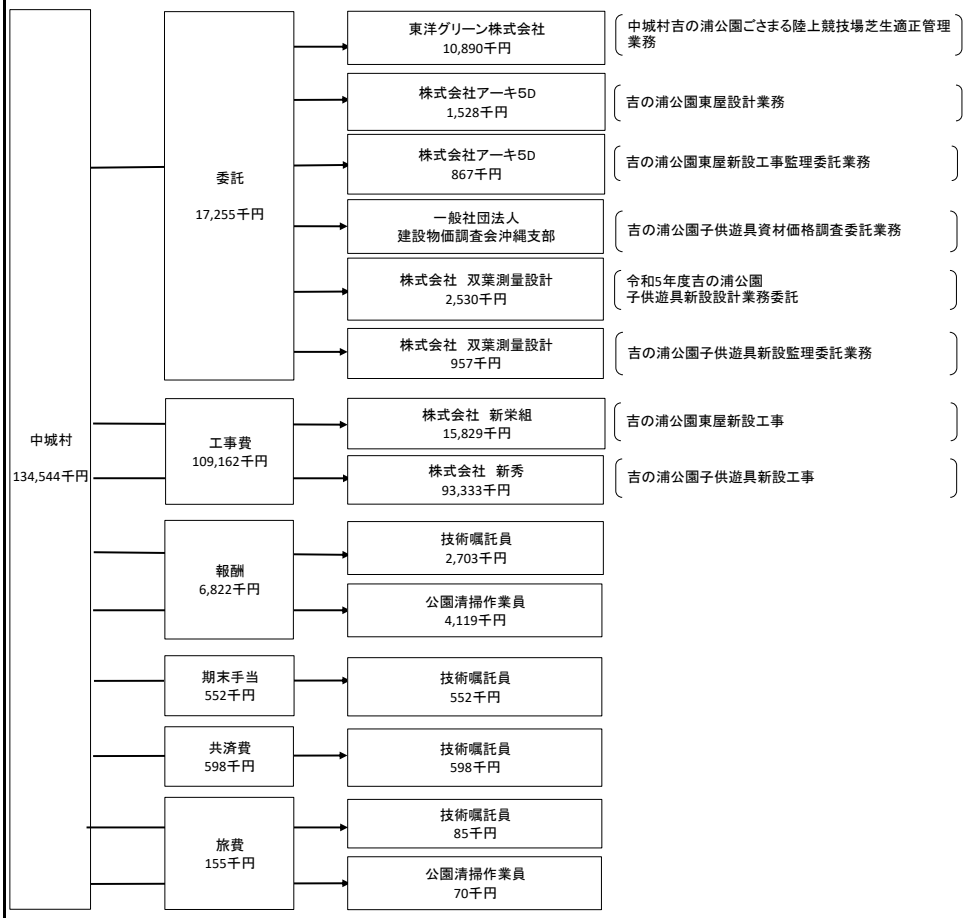
今後の取り組み方針

（プロサッカーキャンプ受入）
良質な芝の適正管理を継続して実施し、関係機関と連携しながら受入体制の強化に取り組みプロサッカーチームキャンプの定着化を図ることで観光誘客を促進する。

（東屋新設工事・遊具施設工事）
施設機能強化による利便性向上について村HPや広報で周知するなど情報発信を強化し、施設利用者の増加に繋げる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
134,544	134,544	107,634	26,910	0



資金の流れ・費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の選定に関して、各工事及び設計委託については、指名競争入札により選定しており、適正な業者選定及び規模である。 ・入札残による不用額が発生したが、予算規模は適正であったと考える。 ・費目・使途については、精算時に目的に即しているかを確認し、必要であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村

令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑤	保育施設機能強化整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア
					子ども・子育て支援の充実
担当部課名	こども課	事業実施（予定）年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4-2

事業内容	本村では、若年出産、ひとり親世帯、夜型社会など沖縄独特の子育て環境により発達の遅れや、生活習慣などに問題があると思われる子ども達が年々増加傾向にある為、子ども達が体を動かして遊び、健康・健全な成長を促すことを目的に、保育施設の機能強化整備を実施し子どもが健全に成長できる環境の整備を図る。
効果発現年度	□当年度　■後年度（R6年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R5年度（繰）			
予算の状況	(a) 当初予算額	5,170				
	(b) 予算現額	6,666				
	(c) 増減額 (b-a)	1,496	0	0	0	0
	(d) 繰越額		6,171			
	A. 計 (b+d)	6,666	6,171	0	0	0
B. 執行済額		495	6,171			
うち交付金充当額		396	4,936			
次年度繰越額		6,171				
執行率（%）(B/A)		7.4%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：年度途中で遊具の設置に係る設計を行う必要が生じたことから、事業費が増額となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R5年度（繰）		
工事の実施	目　標	実施			
	実　績	一部実施	実施		

達成状況説明：設計等について年度内に実施したが、遊具設置工事については施工に伴い発生した状況変化（地盤等）に伴う施行能率の低下の調査等に不測の日数を要したことから繰越を行い、翌年度に実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度	R5年度（繰）		目標値（R7年度）
工事の完了	目　標		（　完了　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		一部完了	完了		
【参考指標】遊具に関連する事故及びケガ件数	目　標		（　）	（　）	（　）	（　0件　）
	実　績					

設計は年度内に完了したが、遊具設置工事については不測の日数を要したことで次年度繰越となった。

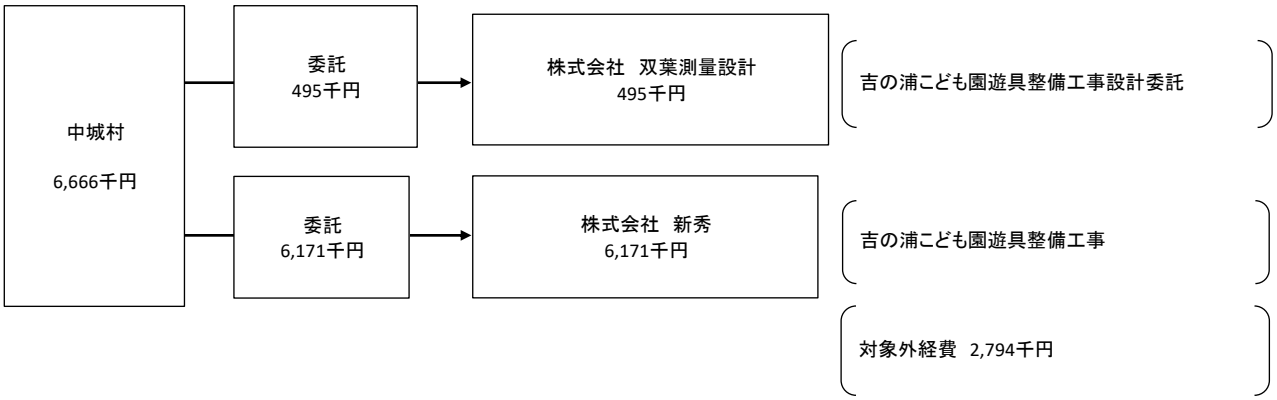
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	設置した遊具で園児が安心安全で遊べるよう適正に管理していく必要がある。	園児が安全に遊べるよう、設置された遊具の定期的な点検を実施していく。

今後の取り組み方針

子ども達の運動機能の向上や心身の健全化に繋がるよう、保育施設において屋外活動の時間を確保するとともに遊具の適切な管理を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,460	6,666	5,332	1,334	2,794



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の選定に関して、指名競争入札等により選定しており、適正な業者選定及び規模である。 ・予算規模は設計金額等を踏まえ適正であったと考える。 ・費目・使途については、精算時に目的に即しているかを確認し、必要であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村

令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-②	水産物安定出荷事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-カ 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	村産品ブランドの確立と生産供給体制の強化を図るため、村内水産物の安定的な出荷に必要な設備の整備を行う。				
効果発現年度	□当年度　■後年度（R7年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R5年度（繰）			
予算の状況	(a) 当初予算額	13,981				
	(b) 予算現額	15,334				
	(c) 増減額 (b-a)	1,353	0			
	(d) 繰越額		14,239			
	A. 計 (b+d)	15,334	14,239			
B. 執行済額		1,095	13,800			
うち交付金充当額		876	11,040			
次年度繰越額		14,239				
執行率（%）(B/A)		7.1%	96.9%			
予算の状況の説明		令和5年度に実施設計は執行したが、設計内容の見直しに不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難となったため、工事費及び工事監理業務にかかる14,239千円を繰越した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況				
		R5年度	R5年度（繰）			
整備の実施	目　標	実施				
	実　績	実施	実施			
達成状況説明	・令和5年度に実施設計を実施した。工事については繰越となり令和6年度に工事、工事監理業務を実施した。					

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度	R5年度（繰）		目標値（R7年度）
整備の完了	目　標		（　完了　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		一部完了	完了		
【参考指標】水産物出荷量の増加	目　標		（　　）	（　　）	（　　）	（前年比10%増）
	実　績					
進捗状況説明	・令和5年度に実施設計を完了した。工事については繰越となったが、令和6年度に実施し、工期通りに完了することができた。					

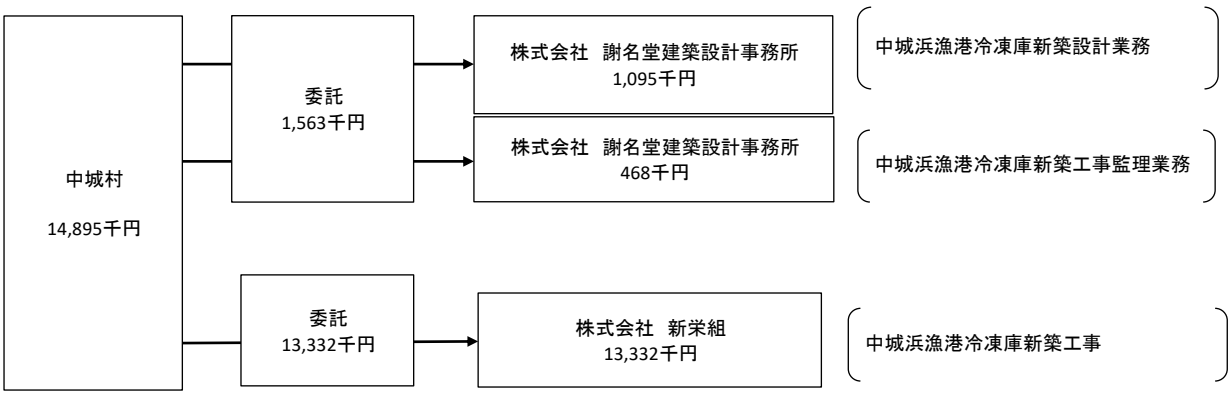
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・工事が完了し水産物の保管が可能になったことから、安定的な出荷が期待できる。今後は設備の利活用に向けた取組みが必要となる。	・漁業関係者に適正利用を促し、効率的な出荷や事業者の負担軽減に繋げる。 ・冷凍庫内に棚を設置することで、水産物の整理や保管スペースの確保など利便性の向上が期待できる。

今後の取り組み方針

・設備の利活用について漁協と協議を進めながら保管した水産物の安定的な出荷に取り組み、漁業者の所得の向上に繋げる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,895	14,895	11,916	2,979	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者については中城村契約規則に基づき実施しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、実施設計に基づいており、適正である。 ○費目、使途については事業完了時の検査において精査しており、妥当であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	